

これからの

F★★★★★

住宅基礎の弾性美装塗材

FUTURE COAT[®] 基礎用

ひび割れしない!
剥がれない!!
膨れない!!
美観が向上し、お客様に喜ばれます!!

FUTURE COAT<sup>BASE
TOP</sup>

コンクリートの中性を防ぎ

住宅基礎を長期間守ります。

今までに無かった
高耐久性・基礎保護材。
それが“フューチャーコート”



株式会社 エイブル

これからの

住宅基礎の弾性美装塗材
FUTURE COAT[®]
基礎用

高耐久性・基礎保護材

すでに多くの住宅メーカー様やビルダー様の標準仕様にご採用頂いている商品です。

基礎用ベース		基礎用トップ	
日本建築仕上材工業会登録		日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1006068	登録番号	1006080
放散等級区分表示	F☆☆☆☆	放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/	問合せ先	http://www.nsk-web.org/

フューチャーコート 7つの特徴

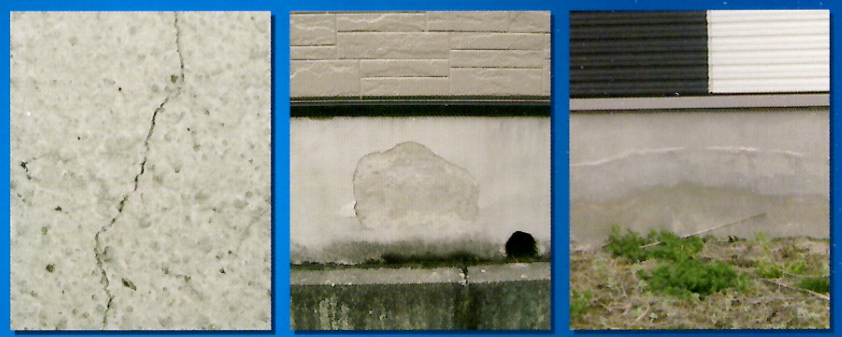


- ① 塗膜は非常に伸び・弾性があり、ヘアークラックが表面化しない。
- ② 透湿性があるので膨れず、モルタル仕上げの様に白華や縞模様にならない。
- ③ モルタル仕上げだと泥汚れがなかなか落ちにくいですがフューチャーコート基礎用を使ってからは、泥がついても水洗いで簡単に綺麗になる。
- ④ 基礎の意匠性が上がり建物の価値が上がる。
- ⑤ 今までに建てた住宅も基礎からリフォームが可能。
- ⑥ 15年以上メンテナンスフリーの耐久性が謳えます。
- ⑦ 非透水塗膜で基礎コンクリートを長期に亘り、中性化から守ります。



住宅基礎モルタル仕上げの宿命

年を重ねるごとに、コンクリート・モルタルは乾燥が進むと収縮クラックが入りやすくなります。また、長年の降雨等で、モルタルに雨水がしみ込み、セメントのエフロエッセンスが出て、白華現象が出たり、縞模様になり、住宅の美観を損ないます。



こうなる前に

フューチャーコート基礎用の使用材料

材 料 名	荷 姿	使 用 量	施工面積	施工器具	乾燥時間
FUTUREモルタル (段差補修)	15 kg 袋	配合比 粉体15kg:水5.3ℓ	/	金ゴテ ゴムベラ	1h~2h
FUTUREカチオンC1 (断熱工法用下塗り材)	20 kg 袋	20kg:水5.8ℓ	16㎡~ 20㎡	金ゴテ	3 h
FUTUREカチオンC2 (断熱工法用下塗り材)	20 kg 袋	20kg:水3.0ℓ	約7㎡	金ゴテ	6h~24h
ワンタッチピニロン補強用クロス(襷つき)	20cm × 50m	/	/	/	/
基礎用ベース (下塗り材)	5 kg /セット (粉体3kg/袋・液部2kg/缶)	1 kg /㎡	1セット 5㎡	砂骨ローラー (標準目)	2h~3h
	20 kg /セット (粉体12kg/袋・液部8kg/缶)		1セット 20㎡		
基礎用トップ (上塗り材)	●グレー ●ベージュ ●フラット ●ホワイト ●ニューベージュ 4kg/缶	0.2 kg /㎡ (無希釈)	1缶 20㎡	中毛ローラー	3 h
	●石目調・グレー ●石目調・ベージュ 10kg/缶	0.5 kg /㎡ (無希釈)	1缶 14㎡	砂骨ローラー (標準目)	
	●石目調・G ●石目調・L 20kg/缶	1 kg /㎡ (無希釈)	1缶 20㎡		

この商品で問題解決!!

基礎用ベース

基礎用トップ

(20kgセットの粉体部) (20kgセットの液部)

(石目調・グレー&ベージュ:10kg) (フラット4kg) (石目調・G&L:20kg)

なぜ「フューチャーコート・ベース」が必要？

コンクリートのクラックを低減又は、雨水進入防止として、弾性塗材を厚吹きする施工が多くなっていますが、通気性が少ない為やコンクリートの強アルカリに塗膜が侵され、弾性塗材の膨れ・剥がれの事故も必然的に増えています。

「フューチャーコート・ベース」は、高弾性セメントモルタルで通気性に富み、下地との付着力も高い材料なので膨れ・剥がれが無く、さらに仕上げ塗材との接着も良好な下地調整材です。無論、無機系材料ですから環境にも優しい特徴も兼ね備えています。

これからの住宅基礎の必需品！ 耐久性アップ！ 付加価値アップの弾性美装塗材

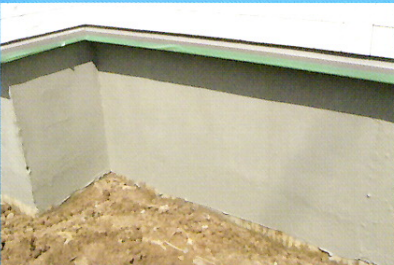
コンクリート下地の施工要領

FUTURE COAT BASE TOP

基礎補修



- ① 基礎周りの土をGLより10cm程度、掘り下げてください。
- ② ベタ基礎の打ち継ぎ部や型枠ジョイント部をディスクサンダーで出来るだけ平滑にして、基礎表面の汚れを出来ればブラシ等で水洗いして綺麗にする。
(打ち継ぎ部の段差が5mm以上の場合は、樹脂モルタル等で不離調整が必要。)
- ③ FUTUREモルタルを袋から5kg位取り出し、適量の水を加えハンドミキサーで2分位攪拌し、ジャンカ・ピンホールが埋まる様に基礎全体にコテ波が出ない様にジゴキ塗りをする。(夏場30分~1時間・冬場1~2時間程度乾燥させ、スクレーパーやサンドペーパーで平滑に仕上げを行う)
- ④ FUTUREモルタルが乾燥するまでの間に、水切りや雨樋・玄関ポーチとの取り合い等をテープやマスカーで養生する。



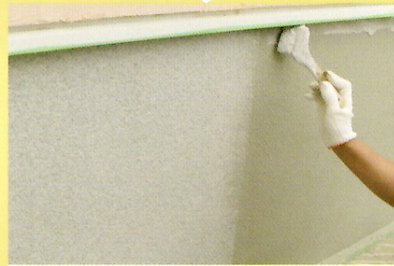
注意事項

一度攪拌した材料の粘度が上昇した時に水を足しての粘度調整は絶対に避けてください。FUTUREモルタル本来の性能が大幅に低下してしまいます。出来るだけ、小分けにして使用してください。(配合比/粉体3kg:水1ℓの倍数で)

ベース塗布



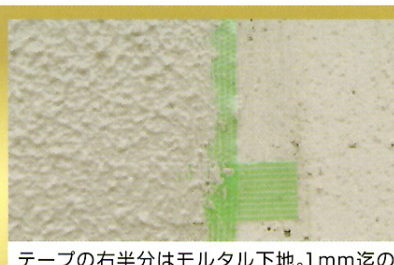
液部を十分に振ってから、練り混ぜ容器に入れる。高速ハンドミキサーを回転させながら、粉体を入れ2分間練り混ぜる。回転が遅いと所定の粘性ができません。



入隅・水切り下場と縁切り部分は、ローラー施工できない為、予めハケで塗布する。

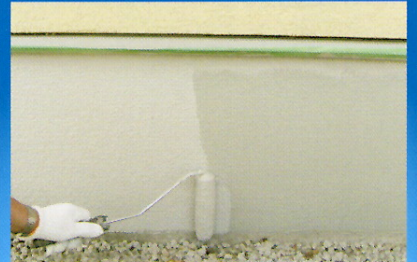


砂骨ローラーで横にネタを配り、次に縦方向に力を入れずに材料を広げながらパターンを付ける。

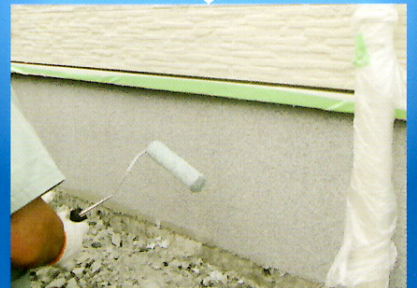


テープの右半分はモルタル下地。1mm迄のピンホールは左半分のようにベースをそのまま塗れますが、2mm以上は下地処理が必要。

トップ・フラット仕上



ベース材乾燥後、トップを攪拌し、ローラーで横方向にネタ配りを行う。

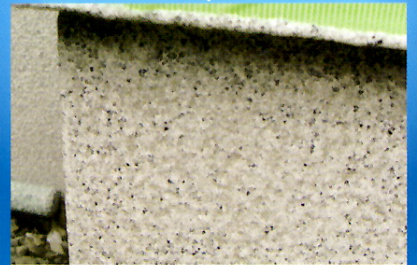


縦方向で均一に仕上げを行う。(グレー色)

トップ石目調仕上



上板を開け高速ハンドミキサーで1分間攪拌を行う。小分けする場合は缶をよく振ってから小分けしてください。



トップ材施工完了。(石目調) 乾燥する前に、養生等を取り除いてください。

基礎断熱保護塗装工法

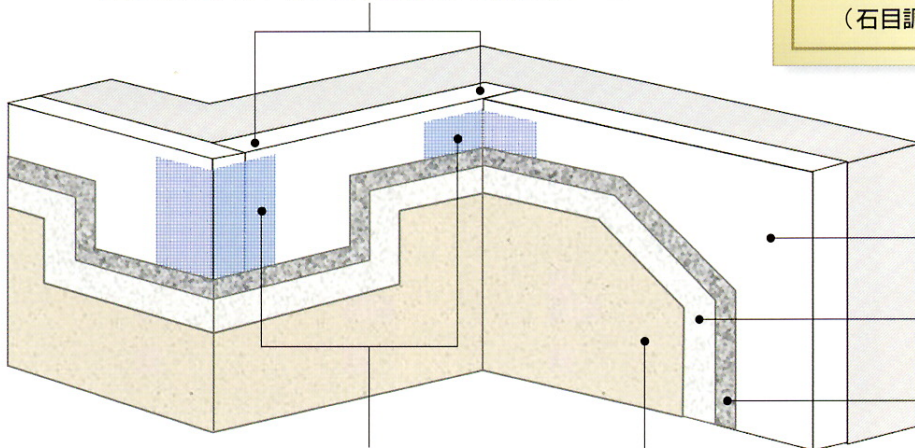
標準作業工程(30㎡基準・夏2日/冬3日)

断熱材 (EPS板・XPS板) は、コンクリートと違いベースの水分を吸水しない為に、表面蒸発乾燥となります。無風や高湿により乾燥時間が2~4時間以上かかる事も予想されます。
 その際には、送風機を使用することにより乾燥時間を短縮させる事が可能です。

●標準作業工程(30㎡基準:夏2日、冬3日)

- 脱 枠
- ①断熱材ジョイント部・フーチング取合いシール
 - ②出隅部角起こし・ジョイント部不離調整
 - ③糊付補強クロス貼付
 - ④FUTUREカチオンC1 ※塗布 1.0kg/㎡
養生硬化確認後戻し
(上屋工事完成後)
 - ⑤FUTURE COATベース 塗布 1.0kg/㎡
 - ⑥FUTURE COATトップ
(フラット) 塗布 0.2kg/㎡
(石目調グレー・ベージュ) 塗布 0.5kg/㎡
(石目調-G・石目調-L) 塗布 1.0kg/㎡

①断熱材ジョイント、突合せ部速乾又は、防蟻気密シール



※積雪地域は、FUTUREカチオンC2 3.0kg/㎡推奨

③ 糊付補強用クロス200mm幅貼付
(断熱材天端、下端より10mm離して貼付ける)

⑥ FUTURECOATトップ (フラット) 0.2kg/㎡ (石目調は0.5kg/㎡)
(トップはGLより50mm下がりまで塗布)

フューチャーコート 副資材

フューチャーコート 標準色見本



基礎用施工時に上記写真以外にご用意いただく工具等

- 20~30ℓ程度の攪拌容器:2個 (ベース攪拌用・ハンドミキサー等の水洗浄用)
- 800回転以上のハンドミキサー ●ディスクサンダー
- 基礎周りやハンドミキサーを洗う洗車ブラシ
- 練り上がりベース材料を小分けする5~10ℓ程度の容器:2個
- スコップ・皮スキ・カッターナイフ・ハサミ・ゴミ袋・10kg台秤 等



※印刷の為、色調は現物と若干異なります。
 ※石目調は、砂骨ローラー (標準目) をご使用ください。

注意事項

- フューチャーコート(粉体)は、粉塵が立ち易く、強アルカリ性を有します。直接眼に入ったり、長時間皮膚に付着すると失明や炎症を起こすことがありますので、取り扱いには保護メガネ、マスク、ゴム手袋等を着用してください。万一、眼に入ったり長く皮膚に付着したときは清水で十分に洗い落としてください。必要に応じて専門医に診察を受けてください。
- フューチャーコート(混和液)・トップは乾燥すると取り除きにくくなりますので、皮膚等に付着したときは直ちに洗い落として下さい。また眼に入った時は、粉体と同様の処置をしてください。
- フューチャーコート ベース・トップの施工に際してはカタログに記載されている方法で使用してください。 ※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

発売元
 環境を考え、品質向上のパートナー
株式会社 エイブル

[特約販売店]

〒963-0205 福島県郡山市堤1丁目127番地
 TEL.024-951-8248 FAX.024-952-8380
 URL: <http://www.able-web.jp> MAIL: info@able-web.jp